

熊本交

区 分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	2856	45	3547
昨年	2849	35	3507
増 減	+7	+10	+40

交通安全協会だより 第585号

令和5年1月 発行所 (一財)熊本県交通安全協会
 熊本県交通安全活動推進センター
 電話(096)-233-2110
 ホームページ リニューアルしました! kumamoto-ankyo.jp



年頭のごあいさつ

一般財団法人 熊本県交通安全協会 会長 與縄 義昭

明けましておめでとうございます。県民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から、当協会の活動にご支援とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。さて、昨年は、3年続いた厳しいコロナ禍の影響で様々な活動が制約を受ける中、各交通関係機関や団体及び地域のボランティア団体等、関係者の皆様お一人お一人が、地道な交通安全活動に取り組んでいただきました。言うなれば、昨年は新型コロナウイルスと共存しながらの交通安全活動に一步踏み出した新たな一年であったように思います。その一方で、県下の交通事故情勢は、人や経済活動が徐々に活発化するのに伴うかのように、減少傾向にあった交通事故のいくつかの指数が前年よりも増加に転じ、特に交通事故死者数は、前年を大きく上回るという非常に残念な結果となりました。この増加は、あくまで、昭和23年以降最少を記録した一昨年と比較した結果であって、例えば、過去10年を振り返りますと、昨年の死者数は比較的少ないとも言えそうですが、あくまで、係る情勢を、「看過すれば、今後交通事故死者数が増加に転じる。」との警鐘が鳴らされているものと捉えて、改めて、気を引き締めなければならぬと感じているところです。また、高齢化の進展とともに、高齢者の交通事故死者数が全体に占める割合は、依然6割前後と高水準で推移していますし、一時期減少したと思われた飲酒運転も増加の兆しが見られるなど、交通事故情勢は些かも油断できない状況にあります。このような情勢の中、当協会といたしましても、社会の動きに連動し、昨年は、3年振りとなる「自転車安全教育指導員養成講習会」や「二輪車安全運転熊本県大会」等、各種講習会や大会を開催しますとともに、各地で行われる交通安全教育に職員を講師として派遣しておりますし、例年同様、春・秋の全国交通安全運動に積極的に参画するなど、子供や高齢者の交通事故防止、飲酒運転の撲滅、歩行者保護活動等に取り組んできたところです。本年も、同様に、より実践的な各種交通安全諸対策に取り組んで参る所存ですので、県民の皆様方には、当協会及び各地区の交通安全協会の活動や取組みに対し、益々のご支援とご協力を賜りますよう改めて、切にお願い申し上げます。結びに、本年が県民の皆様にとりまして、明るく健やかな一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

回 覧

謹 賀 新 年

熊本中央地区交通安全協会 片桐 英彰	山鹿地区交通安全協会 牛島 健二	御船地区交通安全協会 池田 健吾	人吉地区交通安全協会 内谷 孝一
熊本南地区交通安全協会 角谷 安宣	菊池地区交通安全協会 緒方 宣治	山都地区交通安全協会 梅田 勇二	多良木地区交通安全協会 瀬崎 哲弘
熊本東地区交通安全協会 早川 典宏	大津地区交通安全協会 山本 敦史	宇城地区交通安全協会 須々美 哲	天草地区交通安全協会 緒方 孟繁
熊本北志志地区交通安全協会 田尻 一男	小国地区交通安全協会 渡邊 誠次	八代地区交通安全協会 三浦 賢治	上天草地区交通安全協会 中 直通
玉名地区交通安全協会 作本 幸男	阿蘇地区交通安全協会 岩下 哲三	芦北地区交通安全協会 松下 義一	牛深地区交通安全協会 中村 富人
荒尾地区交通安全協会 山口 賢一	阿蘇南部地区交通安全協会 大塚 弘倫	水俣地区交通安全協会 君島 徳昭	




年頭のごあいさつ



熊本県警察本部長 山口 寛峰

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。
 県民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 また、平素から警察行政の各般にわたり、格別の御理解と多大なる御支援を頂くとともに、地域、職場、家庭など、それぞれの立場において交通安全活動を推進していただいておりますことに対しまして、心から感謝を申し上げます。
 昨年を振り返りますと、引き続き新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながらではありましたが、社会情勢も日々変化し、これまで中止等の対応がなされていた各種イベント等が再開されるなど、人流の活発化が進み、コロナ禍以前に近づいた状況ではなかったかと思えます。
 そのような中、昨年の交通事故情勢につきましては、県内では、特に自動車乗車中と二輪車乗車中の交通死亡事故が続発し、残念ながら統計史上最少を記録した一昨年よりも増加となりました。
 また、飲酒運転はいまだ後を絶ちません。
 一昨年、千葉県八街市で飲酒運転のトラックにより複数の児童が被害に遭う悲惨な交通事故が発生したことを発端に、飲酒運転の根絶に向けた対策等が強化されているところでありますが、本県でも業務中の車両も含め飲酒運転の検挙が相次いでいます。
 このような県内の交通情勢を踏まえ、県警察においては、県民の皆様が交通事故防止、交通違反防止についてより意識を高めてもらえるよう、各種情報発信を行うとともに、効果的な交通指導取締りなどの施策を推進してまいります。
 しかしながら悪いことばかりではなく、日本自動車連盟（JAF）による信号機のない横断歩道における一時停止率調査では、昨年、本県は57.3パーセントと前年から16.5パーセント上昇し、全国でも5番目に高いものでありました。
 ドライバーの交通安全意識の向上が認められる結果でありますので、少しでも100パーセントに近くよう、関係機関等と連携して歩行者優先意識の醸成に努めてまいります。
 また、本年も引き続き、子供や高齢者、自転車に対する交通事故抑止対策等を推進し、県民の皆様が安全で安心して暮らせる熊本の実現に向け、全力を挙げて各種施策に取り組むこととしておりますので、今後も皆様の御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。
 終わりに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。



1月10日は「110番の日」

事件事故の緊急通報ダイヤル

110番

- ★「いつ」「どこで」「何があったのか」などお尋ねします。
- ★近くに見える店舗や住所表示等で場所を教えてください。

#9110

- ★悩みごと、困りごとの相談ダイヤル
- ★096-383-9110(県警本部)、各署の警察安全相談係へ


メール110番

- ★耳や言葉が不自由な方の専用メールアドレス
- ★【専用アドレス】 kumamoto-police110@deluxe.ocn.ne.jp

お願い

- ★いたずら電話は絶対しないでください。
- ★間違い電話にご注意ください。

県警本部110番センターが対応します。



2022年

二輪車安全運転熊本県大会開催

各クラスの優勝者



原付クラス(男性)
梅田 卓実 (山都地区)



原付クラス(女性)
野崎 亜衣 (宇城地区)



一般Aクラス
堂上 千颯 (山都地区)



一般Bクラス
竹岡 風馬 (山都地区)

10月16日、菊池郡菊陽町の県運転免許センターにおいて「2022年二輪車安全運転熊本県大会」を開催しました。

この大会は、県交通安全協会と県二輪車安全運転推進委員会の主催で、二輪車の運転技術と交通マナーの向上を図ることを目的に、高校生や一般の二輪車愛好家などから12名が出場し、原付（男性）、原付（女性）、一般A（普通二輪）、一般B（大型二輪）の4クラスで安全運転の技を競いました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて3年ぶりの開催となりました。

コンビネーションスラローム



交通機動隊模範演技



表彰式



法規走行



記念撮影

自分と子どもの命を守る安全運転講習会

ファミリー・サポート・センター（熊本）アドバイザー 永石 由紀子

厚生労働省の子育て支援事業である『ファミリー・サポート・センター（熊本）』では、一時的で軽易な送迎や預かりを行っています。ここ数年、自家用車での送迎が増加傾向にあります。

当事業において会員の命を守るために、熊本県交通安全協会に依頼し安全運転講習を行いました。

県下の交通事故情勢について講話後、ケーススタディ形式の講習を受けました。

具体的には、交差点での右折時の注意点、子どもの特性を考慮し通学路にはどんな危険が潜むかなど、さまざまな場面を想定し危険予測を行いました。運転適性診断ではハンドル、ブレーキを操作し自身の運転を分析し、さらに酒酔いゴーグル体験、最後は質疑応答でチャイルドシートの取付け場所などについて教わりました。

受講者からは、「繰り返し学習することが大事だと思った」「自分の運転を過信しないようにしたい」など、前向きな感想が聞かれました。今回の講習は、自身の運転を省みるいい機会になり、安全運転への意識が高まったと感じています。これからも、安心・安全を第一に送迎の活動をしていきたいと思っています。

運転適性診断器による診断中



自転車安全教育指導員養成講習会

10月28日、県運転免許センターにおいて、3年ぶりに「自転車安全教育指導員養成講習会」を開催しました。

講習会は、県交通安全協会と県自転車安全教育推進委員会が主催するもので、地域や職域における自転車指導員の育成を目的に、市町村役場の安全教育担当者や交通指導員など20名が受講しました。

講習会では、県警交通企画課係長から交通事故情勢や最近の道路交通法改正点の講義、県自転車二輪車商組合からは自転車の構造に対する講義やタンデム自転車・アシスト自転車(電動)の特徴について実技指導を受けました。



二輪車安全運転指導員資格審査

11月6日、県運転免許センターにおいて、「二輪車安全運転指導員資格審査」を実施しました。

審査は、県警と県交通安全協会（二輪車安全運転推進委員会）が主催するもので、二輪車に関する知識・技能を身に着けて、二輪運転者の交通事故防止と二輪車の健全な利用について指導する、現役ライダーの指導者を育成することが目的で、4名が受審して全員が合格し、二輪車安全運転指導員として認定しました。



各地区交通安全協会の活動だより



熊本南

中緑小学校全児童43名を対象に、模擬道路に信号機や横断歩道などを設置し、自転車の正しい乗り方等の交通安全教室を開催



熊本北合志

11月4日、交通量の多い交差点において、交通関係団体と合同で、ひのくにピカピカ運動の前照灯一斉点灯日に、早め点灯のキャンペーンを実施



玉名

秋の全国交通安全運動期間中、玉名市役所において、たまきな幼稚園児が手作りの交通安全キーホルダーを来訪者に渡して交通事故防止を呼びかけた



荒尾

荒尾市原万田の国道208号において、飲酒運転撲滅やひのくにピカピカ運動の周知徹底を図るキャンペーンを実施



山鹿

鹿本町で行われた「来民門前市」会場において、署員と交通関係団体が合同で、ひのくにピカピカ運動の啓発用チラシや反射材を配布



菊池

菊池市民広場において、菊池女子高生の協力を得て、ひのくにピカピカ運動の早め点灯を呼びかけるキャンペーンを実施



大津

大津幼稚園全園児91名を対象に、道路を歩く時の注意点や横断歩道の渡り方等の交通安全教室を開催



小国

秋の全国交通安全運動出発式において、お笑いタレント「からし蓮根」のお二人に、一日警察署長を委嘱して同運動の盛り上げを図った



阿蘇

11月4日、国道57号において、ひのくにピカピカ運動の前照灯一斉点灯日に、反射材の活用と早め点灯のキャンペーンを実施



阿蘇南部

南阿蘇村アスペクタにおいて、秋の行楽期に増える二輪車を対象にした「ピースライド2022」二輪車事故防止キャンペーンを実施



山都

11月4日、警察署前国道218号において、薄暮時の早め点灯と飲酒運転撲滅のキャンペーンを実施



宇城

11月4日、警察署前国道3号において、ひのくにピカピカ運動の前照灯一斉点灯日に、早め点灯のキャンペーンを実施



八代

「第32回みなと八代フェスティバル2022」のイベント会場において、シートベルトコンビンサーを活用してその効果を体験した



芦北

秋の全国交通安全運動の期間中、町内の広場において、交通安全を願い、交通安全グラウンドゴルフ大会を開催



水俣

秋の全国交通安全運動の期間中、水俣自動車学校において、高齢者の交通事故防止を願って、シルバードライビングスクールを開催



人吉

11月4日、人吉市瓦屋町交差点において、ひのくにピカピカ運動の前照灯一斉点灯日に、早め点灯のキャンペーンを実施



多良木

多良木自動車学校において、管内の就学前の園児を対象に、くまモンも参加して横断歩道等の渡り方交通安全教室を開催



天草

栖本体育館において、「シニアカー乗り方教室」を開催し、シニアカーの交通ルールや事故事例の説明を受講後、仮設コースで体験試乗した

無事故を称えます 永年無事故運転者表彰

「永年無事故表彰」は運転免許を取得されて10年以上無事故の方を対象に長年の安全運転を称える表彰です。

交通安全協会会員の方で表彰を希望される方は、お住まいの地区交通安全協会までお申し込みください。

受賞者の方には「表彰状」「記念品」を贈呈します。詳しくは地区交通安全協会にお尋ねください。

